

# 令和2年7月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和2年7月28日(火) 午前9時00分  
役場3階 大会議室
- 2 出席委員 北村教育長 稲佐委員 下田委員 松尾委員 堤委員
- 3 事務局職員 中村生涯学習課長 宮崎主任指導主事 吉村学校教育課課長補佐  
渡部生涯学習課課長補佐 土井生涯学習課長補佐  
梅木指導主事 川畑庶務係長 平田学校教育係長  
原学校統合再編係長 前田主査
- 4 前回議事録の承認  
6月定例教育委員会の会議録 【原案どおり承認】
- 5 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 6 会議に付した議案  
付議第25号 準要保護の認定について  
付議第26号 白石町教育の指針について
- 7 動議の提出者 なし
- 8 議事の概要 別紙資料のとおり
- 9 議決事項 付議第25号から付議第26号すべて議決
- 10 その他
  - ・事務局からの報告
  - ・傍聴者 なし

1 開 会 8:58  
宮崎主任指導主事

2 前回議事録の承認 8:58  
6月定例教育委員会の会議録を資料により説明  
**委員全員承認**

3 教育長の報告 8:59  
(前回以降の主な動向)

資料より数点を内容紹介。

- 6/30 校長による所属職員への特別面談（不祥事）
- 7/ 4 杵島・武雄地区中体連地区大会代替大会<～5日（日）>
- 7/ 6 西部教育事務所による校長面談<7月9日（木）>
- 7/14 杵島郡PTA連合会委員会・母親委員会
- 7/20 佐賀県農協から白石町学校給食へのしろいし米贈呈式
- 7/20 町議会文教厚生常任委員会学校視察
- 7/22 杵西・藤津地区教科用図書合同選定報告会

(杵西・藤津地域教育長会 7/14 より)

資料により概要の報告。

- ・令和3年度教員採用選考試験の受験申込状況  
倍率は全体でも2.8倍。小中学校の現職の講師が21人、50歳代の受験者が併せて40人が受験されている。
- ・令和2年度全国学力・学習状況調査の活用方法（佐賀県教育委員会）  
今年度、新型コロナウイルス感染症の影響で全国学力・学習状況調査が中止となった。問題用紙が各学校に配布されているためその活用方法について。
- ・令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査概要  
12月2日、3日で実施。今回、小学校4、5年生の社会と理科を廃止するという変更点が出ている。
- ・第4回佐賀県児童生徒ふるさと学習コンクール
- ・令和2年度ネットパトロール等で明らかになったネット上の問題(4月～6月)  
警察のサイバー担当及び民間に委託してパトロールをされている。全県的なもので、昨年度は6中学校の11件であったが、今年度は12中学校の26件となっている。背景には新型コロナウイルス感染症による休校が多分にあるだろうということ。
- ・交通事故発生（加害等）状況調べ  
小3件、中4件の計7件で杵西管内4件。

・令和3年度佐賀県市町立小・中学校・義務教育学校校長採用及び副校長承認候補者選考審査等について

・新聞記事より

24日の佐賀新聞記事で、白石小学校の用務員の石橋さんが消毒液のスタンドを制作されている。各学校はじめ役場にも設置していただいている。

下田委員：ネットパトロールの件で、この件については指導が出来ているものなのかこういう状況であったということなのか。

北村教育長：ほとんどの指導が出来ている。個別に連絡を受けて、学校に流し指導していただくようにその都度している。

下田委員：よかったです。安易な行動で、悪気がなくやっていると思うが、「誰かが見ている」「知っている」というだけでも抑止力になるかと考えました。

#### 4 付議事項の協議 9:21～

##### 付議第25号

###### 準要保護の認定について

北村教育長：白石町教育委員会会議規則第15条による秘密会議宣言。

前田主査：資料に沿って詳細説明。(継続審査4件)

厳正なる審査の結果、認定：1件、不認定3件。

**委員全員承認 (付議第25号)**

##### 付議第26号

###### 白石町教育の指針について

宮崎主任指導主事：資料により説明

6月の教育委員会で内容の説明はしておりますが、改めて承認をお願いするもの。

**委員全員承認 (付議第26号)**

#### 5 その他 10:05～

(1) 問題行動月別報告について

(2) 不登校対策チェックシートについて

梅木指導主事：資料により説明

不登校及びいじめ案件について説明。小学校では昨年度報告のあっていた多くが登校ができていく状況にある。中学校でも改善の報告が4件あるが新規の報告もある。今年度は特に夏休みの短縮、新型

コロナウイルス感染症の対応等で心身のストレスなど心配されるため、これまで以上の状況の注視を校長会でもお願いしている。いじめについてもアンケートにより数件上がってきている。

稲佐委員：自身も長年関わってきて、新型コロナウイルス感染症の関係もあり度々の休業もあった。中には怠け学的なことも出てきているのではないかという感じを受ける。そういう不登校傾向の子どもも中にはいる可能性もあるのではないか。そのため、数字の数だけではなく雰囲気的なこととかそういったことを考えていかないと怠け学も少し出てきているのではという感じを受けた。

梅木指導主事：何人かは元々怠惰的な子どももいて、これを起因としてなかなか出て来れないということがこれまでもいたと思うが、先の説明のとおり今年は特に違うため、様々な状況、様々な原因の子どもが出てくることもあるので、そこについては注視をしていただくというところをお願いしている。

稲佐委員：少しずつは改善もしているので、それだけの努力はされているというのは認めます。

松尾委員：小学校の件で加害児童への指導は。

梅木指導主事：すぐに覚知した日、認知した日からすぐに指導をされて、保護者へもその詳細を伝えてもらっている。保護者についても共感して対応してもらっているということであるため、引続き何かが起こっているというわけではなさそうだということは学校側も言われている。

松尾委員：本人も重々何をしたかということは解かっている。

梅木指導主事：何をしたかということは理解しているということです。

堤 委員：中学校の未解消の分はどうなっているか。

梅木指導主事：学校側も簡単にはいかないだろうということで、長期で見守っていきたいということで報告を受けている。

下田委員：学校に来てない子で、特に中学校3年生が気になる。学校には来れてないが、先生方が色々なかかわりを持っていただいていると思うがその時の状況は。

梅木指導主事：教育相談部会がこれからある学校は詳細な報告は受けてない。報告を受けている分では、家庭の方へ足を運ばれているが会えない状況の子どももいる。保護者からも「今はいいです。」と言われているという状況が続いていたり、情報を得て買い物に出かけるときに見かけるなどの確認を行っている状況等の報告は受けている。2年生等については、スチューデントサポートフェース等の申請をして、取っ掛かりを探そうということで外部からの力を得ようとし

ているところです。

(全委員承諾)

### (3) 学校統合再編計画（案）策定の進捗状況について

原 係長：資料により説明

現在課内で確認作業を行っており、今後庁内で案をまとめ上げ教育委員会で承認後、庁議で決定するような形をとっていきたいと思っている。

稲佐委員：綿密に計画を立てられていると思う。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によっては話し合いがスムーズにできない場合があるかも分からない。ただ気になっているのが跡地問題だが、それもある程度並行して進められるのか。

吉村課長補佐：まちづくりの話と併せて行わないとならないこともあり、町長部局の方で並行して進めていくようにしている。

堤 委員：策定計画を小学校と中学校で分けて作られるということで、この感じがごちゃごちゃせずに良いと思ったところである。気になっているところが、この後にやってくる開校準備委員会の方で、例えば校歌、校章、校訓を含めてだが学校像のあり方とか、そういったのがこの開校準備委員会で話をされることになるか、先行するところはただ単にその地域での学校像を作られると思う。審議会の中でも意見としてあったと思うが、地域、地域ではなく白石町の中に白石町の学校を作るというイメージを持たないといけないのでは。全体の学校像を作るような、全体の学校像のあり方を作るところがあってもいいのでは。他の全市的、全町的に統合再編をされているところを見るとかなり細かいところまで委員会の中で話をされていて、最終的に統合再編疲れのような雰囲気を感じた。肝心なところの議論を深めるためにも校歌、校章、校訓とかは外して町で一括して行うようにしてもいいのかと思った。計画自体は説明のとおりでいいと思う。

吉村課長補佐：おっしゃられたことは、答申の中でも今度の計画の中でも「意識の醸成」ということで、そういう項目を立てて話をするようにしている。校名についても町全体でと思っている。部会等についても視察の部分を参考に進める。

稲佐委員：私も堤委員が言われるように思う。地域、地域ではなく全体的に意識をもって取組んでいかないといけないと思う。

(全委員承諾)

#### (4) オンライン授業について

吉村課長補佐：資料により説明

佐賀新聞にオンライン授業について掲載された。現在、導入後の更新、現場の対応、補助事業の内容を含め検討している。新聞の取上げ方でオンライン授業の「実施予定はない」と掲載されているが全然しないという意味ではない。

稲佐委員：現状としては、統合再編を進めていくし、教師のスキルの問題もあるかと思うが、交付税交付金から来るのか。別に補助金があるのか。

吉村課長補佐：今まで交付税の中の算定の中で、交付税措置をしていたという国の言い方だが、交付税自体は市町村が自由に使ってよい。計算根拠に入っているだけだが、3分の1を交付税で交付しているので、今度は3分の2を補助金でGIGAスクール構想とされている。

堤委員：町内全体から行くとパソコンかタブレットがあるのは半分くらいということか。実際は、スマホとかでは無理だと思うが。

吉村課長補佐：画面が見にくいいためコミュニケーションをとることは可能でも授業をすることは厳しいと思う。

堤委員：Wi-Fi環境がないのが15%くらいということであつたら、新型コロナウイルス感染症の件で言えば、密にならなければいいため、その15%の子どもたちは学校に来てもらったり、あるいは公民館等の施設で授業を受けてもらうとかいうことで対応できるのではと思った。また、低学年の子どもたちは実質WEB授業はなかなか難しい面もあるため、低学年の子どもたちだけは学校で分散して授業をするなどそういう対応の仕方でもいいかと思う。

吉村課長補佐：参考までにだが、ある学校が休校中にYouTubeに画像を上げ、限定公開で見てもらったという取り組みもあっている。

松尾委員：もし新型コロナウイルス感染症がこのままの状態では授業ができないとなった時には、どうしても受験があるため中学校3年生の生徒だけにでもオンラインの授業ができる方法を取ってほしいと思う。そのための予算がどのくらいかかるかの試算は。

吉村課長補佐：約1学年200人くらいと考えて、端末の安いもので1台7万として1,400万円。あとは通信環境をどうするかということで、他市町で言えばルーターを貸し出すという方法もある。

松尾委員：市町村によっては、貸し出しをしているらしいが、それを可能な範囲にするためにはどうしたらいいかという検討をしていただければと思う。

吉村課長補佐：わかりました。ネットの情報であつたが他県で貸し出したパソコンが数千台帰ってきていないなどの事案が発生している。そうい

う話もあっている。

(全委員承諾)

(5) 8月行事予定表

川畑係長：資料により行事内容説明。

(全委員承諾)

(6) その他

下田委員：夏季休業中のチェックシートというのを見ていて感じたが、これとは別に学校に行けてない子どもたちのことを思いながら、放課後デイサービスのガイドラインの中に不登校の子どもたちの支援というのがうたわれている。福祉と教育はまた違った形での支援になるため、そういうところで一歩外へ出る機会を作れるような連携ができればいいなと考えたため、こういった事業所があるということも学校を通して周知をしていただければ違った方向からバックアップができると思うのでよろしくをお願いしたい。

中村課長：10月11日に町民スポーツ大会を計画していたが、どうしてもお子さんから高齢者の方の参加ということで、なかなか3密を回避できないということ。スポーツ推進委員、自治公民館長さんにアンケートを取った結果今回については中止ということに決定しました。

稲佐委員：ぺったんこ祭についてはどうか。

中村課長：秋祭りについては、町の考え方と実行委員会の考え方もあるため決定はしていない。

堤 委員：今年「する」、「しない」より来年からどうするかということが問題になってきて、多分「withコロナ」で続くため、来年からのやり方が従来からのやり方が通用しないと思われるため、それに向けた変更とかを今年1年かけて考えていかないといけないと思う。

中村課長：確かに「withコロナ」という流れで、いつ終息ということはないと考えるところでもありましたので協議していきたいと思います。

(全委員承諾)

6 閉 会 10:55

宮崎主任指導主事